

学生・社会人
OK

体験受入先は全国
約 250か所!

参加者
随時募集中!

参加費
無料

令和5年度
募集

農業 インターンシップ

まずは体験
してみよう!

農業インターンシップとは?

農業インターンシップは、農業法人や農場で就業体験ができる制度です。

農業法人等で働く従業員の方と一緒に農作業を経験することで、「農業」で働くことが身近に感じられ、自分の適性を確認できます。



ここがポイント

- 体験受入先に登録している農業法人・農場は全国で約250か所!
- 稲作、野菜、果樹、花き、畜産、観光農園等、体験受入先や時期によって体験内容は多種多様!
- 社会人、学生問わず申込 OK! (満 16 歳以上)
- 住み込みでの体験により、体験受入先との交流を深めることや、田舎暮らし・生活面のメリット・デメリットについてしっかり体感できます!
- 体験者は随時募集中! 連続した2日以上~6週間までの期間で、希望する日程で申し込めます。

お申込は
WEBから

農業インターンシップ 農業をはじめ

検索

専用ホームページからお申込いただけます。詳細は裏面をご参照ください。



公益社団法人
日本農業法人協会

令和5年度募集

募集コース

1 一般体験コース

- 対象** 学生、社会人
期間 連続した2日以上
6週間（42日間）以内
※1日だけの体験は不可。

一般体験コース日程例						
10 2023						
月	火	水	木	金	土	日
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6	7	8
体験期間						
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2 社会人週末体験コース

- 対象** 社会人のみ
期間 連続した2日以上
の休日を複数回組み合わせる
就業体験
※体験初日～最終日は原則2か月以内
※連続した2日以上であれば曜日は
問いません。
※1日だけの体験は不可。

社会人週末体験コース日程例						
11 2023						
月	火	水	木	金	土	日
30	31	1	2	3	4	5
体験1回目						
6	7	8	9	10	11	12
体験2回目						
13	14	15	16	17	18	19
体験3回目						
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

※宿泊を伴う上記の体験コースを原則とし、宿泊での実施が困難な場合に、体験者、受入先双方が合意した上で
通いでの体験も可とします。

募集要件

- 農業法人等への就業を希望する方、農業に関心のある方
- 満16歳以上
- 健康体で農作業ができる体力がある方
- 当協会が定める「農業インターンシップの目的とルール」を守ることができる方

実施要領

【体験期間】

連続した2日以上6週間（42日間）以内
体験時間は原則1日8時間、1週40時間以内、
休日は1週に2日以内を目安とします。

【参加費用】

無料
ただし、体験受入先までの交通費は自己負担となります。

【食費・宿泊費】

原則、体験受入先が負担
原則として経営者宅・社宅等に住み込みとします。
ただし、受入先と体験者双方合意のうえで通いもできます
(通いの場合、食費のみ体験受入先が負担)。

【傷害保険】

体験期間中は、傷害保険等（農業実習総合保険）に加入
保険料の負担や事故時の手続きなどは事務局の日本農業法
人協会が行います。

Q&A

Q どんな作業が体験できますか？

A お米や野菜、果物、花き、きのこと等の栽培管理作業全般や収穫、畜産では牛、豚、鶏等の動物の飼養管理作業が体験できます。また生産ばかりでなく農産加工や販売などの体験ができる体験受入先もあります。

Q 複数の体験受入先で体験できますか？

A 可能です。ただし、体験受入先ごとに申込みが必要です。まずは1か所
で体験してみて、次の体験受入先を検討することをお勧めします。

Q 通いでの体験は可能ですか？

A 体験受入先が可能であれば通いでの体験もできますが、より多くの
ことが吸収できる宿泊を伴う体験をお勧めします。

Q 同じ体験受入先でもう一回体験したいです。

A 体験を実施する時期や体験内容が異なる場合は体験可能です。

Q 体験受入先はどのように決めたらよいですか？

A 体験受入先は、専用WEBページ（「農業をはじめ
る.JP」内のインターンシップ紹介ページ）
から検索できます。地域・営業作目など、ご
自身の希望に合わせてお探しく下さい。

Q 既に農業法人で就職が決まっていますが、体験できますか？

A 就業前であれば体験可能です。ミスマッチ防止のためにぜひご
活用ください。

Q 農業法人とは？

A 株式会社などの企業形態で農業を営む法人の総称です。従業員等
の独立支援をしている法人も多くあり、農業法人で働いて収入を
得ながら、栽培技術などのスキルを身に付けることもできます。



インターンシップの詳細・申込は
専用WEBページから
ご確認ください

農業をはじめる.JP
「農業インターンシップとは」
➔ <https://www.be-farmer.jp/experience/intern/>



体験の心構え

農業インターンシップは体験受入先のご厚意の上に成り立っています。

体験受入先が宿泊費・食費を負担してでも体験者を受け入れるのは、これからの日本農業を担う人材や、農業に関わる人を少しでも増やしたいという思いからです。ぜひ積極的に動き、学び、発言し、「農業」を知ってください。

農業インターンシップ内容紹介

体験内容は、体験受入先の経営作目により異なります。作業は農作業だけでなく多岐にわたります。

また、同じ体験受入先でも参加する時期により体験内容は異なります。

1日の作業時間は繁忙期や体験受入先の就業規則にもよりますが、原則8時間とし、1週間のうち40時間を超えないよう休日などを設けるよう努めております。

体験者の1日の例

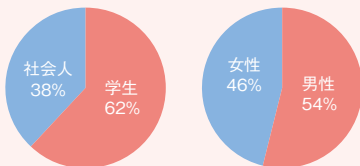
(季節や天候、体験受入先の作業方法等により異なります)

経営作目	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時
野菜		トマト・キュウリの収穫		出荷調整・箱詰め		休憩		出荷・配達	芽かき・誘引	片付け等				
果樹		病虫害防除		房作り・摘粒		休憩		かさ・袋かけ						
酪農	給餌	搾乳	清掃等			休憩		子牛の世話	給餌	搾乳	清掃			
肉用牛		清掃	給餌	管理作業		休憩	管理作業	給餌						
採卵鶏			給餌	集卵	清掃	休憩	洗卵・選別	清掃	集卵					

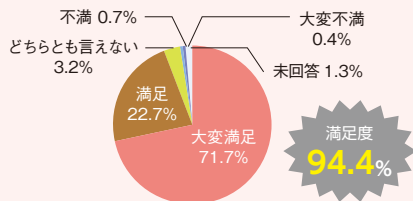


令和4年度の農業インターンシップデータ(実績)

体験者数 1,092名



体験者満足度



体験者の雇用実績

	令和4年度	令和3年度
雇用された人数	50名	46名
雇用した体験受入先数	35社	28社



体験者の感想

【高校生男性】牛や酪農家についてたくさん知れて良い経験でした。

【社会人男性】2週間というある程度まとまった期間で連続して仕事を体験することによって、実際に就農した後の生活をする事ができ、就農後のイメージがともしやすいたるところがとても良かった。確かに農業は体力が必要な仕事であり大変ではありましたが、それが苦になることはなく、むしろやりがいのほうが多く感じられ、農業が自分の性格に合っているさうだと感じました。

【大学生男性】優しく私の体調やペースを気遣ってくださり嬉しかったです。丁寧に業務内容を教えてくださったので、説明不足などを感じることなく安心して作業に集中できました。

【専門学校生男性】生産以外にもマルシェへの出店やイベントなど学校では体験できないことが体験できてよかったです。

【大学生女性】私は生産者と消費者を繋げたいという思いで就職活動中ですが、実際に農業インターンシップを体験したことで、私たちが普段何気なくスーパーで手に取っている野菜はこんなにも思いが込められているのだと実感しました。

【社会人女性】インターンで学びたいことを最初に聞いてくださり、内容に合わせて体験内容を調整してくださいました。おかげさまで、短い期間でも学びの多い時間を過ごすことができました。



体験受入先の感想

【酪農】施設や宿泊場所をきれいに掃除してくれました。作業も楽しそうにしていました。

【酪農】スタッフとのコミュニケーションが少なかったです。指示した作業は指示通りにやってくれましたが、こちらから声を掛けないと、次の作業をする姿勢が見受けられませんでした。

【野菜】現場での細かいところまで観察しており、就農した際の参考にしようという積極的な姿勢が見られました。弊社で数年間の経験を経てから独立した方が良いのではないかと助言しました。

【稲作】農業体験と自炊が目的だったようで、どちらも楽しみながらやってもらえた。酷暑の日もあり、あまり無理はさせないようにしました。

【畑作】真面目に作業に取り組み、メモをとったり、作業後の報告をメールで送ってきたりと、2日間でも安心して作業を任せることができました。

【野菜】単に作業をするだけでなく、知識や効率等を吸収しようとする姿勢は非常に良いと感じました。作業中のコミュニケーションの重要性を理解してくれたことは、大きな学びと感じています。

農業インターンシップのながれ

まずは体験
してみよう!

STEP 1

- 専用WEBページ(農業をはじめer.JP内インターンシップ紹介ページ)
<https://www.be-farmer.jp/experience/intern>
をご確認ください



農業インターンシップ 農業をはじめer

検索

- 以下の手順でWEBからご応募ください (所定の様式にて、郵送やメール応募も承ります)
 - ① 農業インターンシップの目的とルールをよく読み、注意事項を確認してください。
 - ② 受入農業法人一覧 (農業インターンシップ受入農業法人台帳) から希望する体験受入先を選んで申込フォームに必要事項を記入してください。
※一覧に掲載されていない農業法人等でも体験受入ができる場合もあります。
ご不明な点がございましたら事務局までお問い合わせください。
 - ③ **体験開始希望日の1か月～2週間前までを目安に申込をしてください。**
 - ④ 「農業インターンシップ体験のルール」 および 「農業実習総合保険」 の内容を体験に入る前に必ず目を通しておいてください(保険加入手続きは事務局にて行います)。



STEP 2

- 皆様の希望をもとに、事務局が体験受入先に打診をします

- ① 事務局は皆様の申し込み情報を体験受入先に送付します。
※体験受入先から皆様に事前連絡し、簡単な面接をする場合もあります。
- ② **体験受入法人等が決定した後、事務局から皆様に連絡します。**



STEP 3

- 皆様で体験受入先と直接連絡を取り、準備すべきこと等を相談してください

- ① 事務局から皆様に体験受入先の連絡先や担当者をお知らせしますので、この後は皆様から直接体験受入先に連絡を取ってください。
- ② 当日の時間や体験先までの行き方、持ち物などの詳細を体験受入先と相談して体験の準備をしてください。
※もし、**体験日程が変更になった場合は必ず事務局に連絡してください。**



STEP 4

- 農業インターンシップスタート!

体験期間中は体験受入先の指示に従って体験を実施します。
自らも積極的に行動し、様々なことを吸収してください!!



STEP 5

- 体験終了後10日以内に、体験報告書を事務局へご提出ください

体験報告は WEB の入力フォームから簡単に提出できます。
※郵送 /E メールで提出する場合は、
体験報告書の様式 (word/PDF) をダウンロードしてご記入ください。



終了

〈 お問い合わせ(事務局) 〉

公益社団法人 日本農業法人協会

〒102-0084 東京都千代田区二番町9-8(中央労働基準協会ビル1階)

TEL.03-6268-9500/FAX.03-3237-6811 E-mail: intern@hojin.or.jp

